

協立病院の理念

人権と人格を尊重した、
こころとからだの総合
診療とケアを実践する

協立病院だより

No.72 2018年5・6月号

発行:みさと協立病院

〒341-0016 埼玉県三郷市田中新田273-1

TEL 048(959)1811/FAX 048(959)1819

http://www.tokyo-kinikai.com/misato/



入職おめでとーございます。 ようこそ、みさと協立病院へ！

みさと協立病院 事務長 松本 哲也

毎年この時期、みなさんの新鮮な姿を見ると自分のことに重ね合わせて入職当時に思いを馳せませう。右も左も分からず、しかし早くしつかりしなくてはという不安感、新しい環境に対する期待感、なんとも言えない緊張感に包まれていることと思います。

みなさんがこれから力を発揮していく医療・介護現場をとりまく状況は、なかなか厳しいものがあります。超高齢化、人口減少、増大する医療費……それらを根拠に、年々社会保障費（医療介護にかかろう費用も含む）は抑えられてきています。持続可能な社会保障をという旗印で、減らした部分を自己負担の増加などで賄おうという方向性です。

地域探険

①日 みさと健康診療所
1990年に開設し、5年前に現在の診療所に移転。内科、整形外科、検査機器がある。60人/日ほど来院する。

②日 デイサービスのなかみさと
認知症と診断されている方のデイサービス。10/2名の定員で、個別対応が可能。ゆとりとした雰囲気が特徴的！

③日 まい（ま）のなかみさと（看護小規模多機能型居宅介護）
通い・泊まり訪問を利用者のニーズに合わせて組み合わせる。訪問看護も利用できるため、医療的ケアが必要な方が多い。

④日 デイサービスセンター「采女の里」
18平均 30-35名と利用者が多く、比較的介護度の低い方が多い。自立支援が特徴的の合言葉！！

⑤日 メンタルクリニックみさと
精神科の診療のみならず、うつ病、100人/日程度の外来患者となる。訪問診療も行う。

⑥日 せせせせせせセンター 早稲田
2006年に開設。保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士の3職種が連携し、地域の総合的介護サービスを提供。ケアマネジャーも行う。

⑦日 111の家717 早稲田
高齢者の居場所づくりのため、3年前から開設。毎月780人と99人の人が集い、マージャンや手紙を交わしている。精神疾患の方が多いが、回復期を過ごしている。

その前提には本人や家族の選択、心構えが据えられています。地域で暮らし続けるためには、心構えが求められるので、どう思いますか？ また、制度上「医療が必要な人はこういう人」という枠組みが年々厳しくなっています。改善の見込みがない、一定期間を経過したなどの理由で、受けられる医療の幅が少なくなっています。現場に出ると「まだまだ医療的関わりが必要なのに……」という場面

に遭遇するかもしれません。その時、どう考えればいいのか？ 私は、私たち医療従事者の使命のひとつに「人がよりよく生きるためにはどうすればいいか」があると考えています。どんな状況がその人にとってよりよく生きるのかなのか、それは千差万別です。正解はないかも知れませんが、患者さんに寄り添い、向き合い、考えて行くと、いろいろな矛盾に突き当たると思っています。その



時、ぜひ悩み、葛藤してもらいたいなと思います。今、現場に立って感じているいろいろな思いを大切に、学び、成長して、一緒にまちづくりに取り組んでいきましょう。



品川 健哉

みさと協立病院の医療総合事務職として働くことになりました。

私は、高校3年生の時にI型糖尿病

病になってしまいました。それにより病院に行くことが増え、思ってもらえるような事務員になりたいと思っています。そして、暮らしやすい地域、まちづくりの活動に貢献していきたいと思っています。

これから事務職として、医療について、よろしくお願います。



伊藤 遼

私は、東葛看護学校の出身です。看護師を目指した理由は、人とかかわること、子どもが大好きなことから小児科の看護師になりたいと思っ

たからです。看護学校での学びを通して、患者さんの生活史、ありのままの事実が病態として密接につながっていることを実感しました。また、お金のあふれる中で医療が受けられるかが決まってしまう現状を目の当たりにして、もっと政治に関心を持つて



濱田 希

私は、学生時代に、看護師としての医療知識・技術に加えて、実習で出会った患者さんの生活背景から

同時に、患者さんや共に働く仲間の人から学び、看護師として、人として成長していけるよう頑張ります。好きな食べ物は、納豆ごはん、お酒を飲むことも大好きです。よろしくお願います。

友の会だより

編集 みさと協立友の会

048-959-1811 No.72

春の友の会旅行記

日本ジャーナリスト会議会員 玄間 太郎



四月一六日、みさと協立友の会で訪ねた福島の夏井千本桜は、満開でした。

三郷文化会館前に一四人が元気な姿を見せました。協立病院の若い看護師長・小川晃一、医事課の山崎馨さんの顔も。当初予定の三春滝桜が見ごろを過ぎ、急ぎよ夏井千本桜に変更したのでした。

三春は私が現役記者時代、臨済宗福聚寺に僧侶で芥川賞作家の玄侑宗久を取材に訪れた町でした。

そんなことを思いつつバスに乗り込みました。

バスの中は和気あ

いあい、あちこちから笑声が起きました。二時間四〇分の長丁場。途中、勿来を通りました。奈良から平安時代の白河関、念珠関とともに奥州三関の一つ。源義家をはじめ紀貫之、西行法師などが名歌を詠んだ地です。

夏井千本桜（ソメイヨシノ）はちょうど見ごろ。夏井川兩岸五キロにわたって咲き誇っていました。桜木の下の手の水仙の黄色が眼に鮮やかでした。

土手には三〇軒余の露店も出て、大賑わい。河原にはシートを敷いて寛ぐ幾

組もの家族連れがいました。

ここは小野町。小野といえば小野小町、平安前期の有名な女流歌人。クレオパトラ、楊貴妃と世界三大美女といわれる絶世の美女。だが生誕地も墓もあちこちにあり、謎の多い人。

桜を愛でるのが「三郷小町」の皆様こそ美人の極みですぞ。一行はその後、一路、磐梯熱海温泉のホテル華の湯へ。

客室一六〇余、三〇種類の風呂、豪華絢爛の宿。最高六万円の部屋もあるとか。トシちゃん（田原俊彦）も泊ったんだつてよ。

「遊楽」の間で待望の食事。眼下に五百川の清流、日本庭園。眺めは最高です。ビールはまだか、やっときた、乾杯！料理に舌包みを打ちながら藤元美禰子会長が挨拶し、参加者全員が自己紹介。協立病院との関わりや近況を話しました。帰りのバスの中で「今回の旅行、どうでした？」と辻洋さん。期せずして、「よかった」「サイコウ！」さて次はどこかな？

友の会【川柳の会】

題 「電話」

- ・携帯を持ってみたけど不携帯
- ・友より電話お互い耳が遠くなり
- ・受話器から明るい笑顔見えてくる
- ・受かったと伝える父の弾む声
- ・ごめんねと長電話詫び床につく
- ・孫の合否携帯じつとにぎりしめ
- ・電話待つ待っても来ない空の上

仲子 信子 君江 裕之 寿美 智子 里佳

甲状腺エコー検査

とき：6月23日(土) 14時～17時 先着50名
6月24日(日) 9時～16時 先着90名

場所：旧みさと健和クリニック2階

対象：5歳から25歳の方

申込方法：オンライン
<https://goo.gl/Se38ht> から

問合せ窓口：
甲状腺エコー検査in三郷 実行委員会
090-4593-2542(橋本)までお願いします

みさと協立友の会総会のお知らせ

■とき■
7月14日(土)

■場所■
三郷市文化会館 視聴覚室

■時間■
13:30～16:00

会費納入にご協力ください(ゆうちょ銀行)
口座番号 00510-4 記号番号 44659
みさと協立病院友の会 中川 一秀

サークルのお申し込み、お問い合わせは友の会事務局048-959-1811藤元、萩原まで

新鮮野菜

農業・園芸班

毎月1回(第2木曜日)
午前10時～12時30分
会員が育てた季節の野菜を販売しますので、是非お出かけください。
(販売する方も、募集しております)



懐かしのメロディー

カラオケ班

毎月1回(第3水曜日)
午後1時30分～4時30分

ワオシティー屋上
カラオケレインボー
三郷駅前店
954-2600
会費 500円



笑いの玉手箱

川柳の会

毎月1回
(不定期の木曜日)
午後1時30分～3時00分

課題作品 3句
自由作品 3句
を持ち寄って、内容を吟味します。
投稿だけでも歓迎です。

多種多様何でも

きさらぎ会

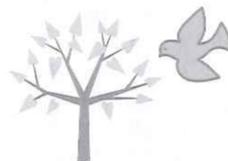
「お茶飲み会」「野草観察会」「陶器つくり販売会」「映画鑑賞会」など会員の要望に沿った多彩な催しを不定期に行います。



ボランティア活動者の交流

ボランティア班

3ヶ月に1度程度の割合で、ボランティア活動者の交流会を行い、活動の交流や学習を行ないたいと思います。



ちょっと出かけてみませんか?

小さな旅の会

3ヶ月に1回くらい出掛けます。

費用は行き先で決まります。

